



やさしさいっぱい 元気いっぱい チャレンジいっぱい

雨竜小学校だより

発行 雨竜町立雨竜小学校

校長 三好考央

令和5年11月15日

第12号

## トロント国語教室との交流

人の心の温かさを存分に感じることで  
きる訪問でした。

今回の訪問は6年生 [ ]さん [ ]  
[ ]さん 5年生 [ ]さん 引率  
[ ]の4名で行いました。

トロントには夜の7時過ぎに到着し、ホ  
ームステイ先のファミリーが迎えてくれま  
した。子供たちにとって約13時間のフラ  
イトの後、初めて会う人たちと過ごすのは  
かなりの緊張感がありました。

次の日は、トロント国語教室で歓迎会が  
ありました。雨竜小学校より多い約150  
名の前で自己紹介をし、その後は歌を歌って  
くれたり、トロントのことをクイズ形式で  
教えてもらったりと、大変素晴らしい歓迎  
を受けました。その後、5年生、6年生の  
教室と一緒に勉強をさせてもらい、ハロウ  
インの時期でしたので、学校のハロウィン  
集会にも参加させてもらいました。

### ～トロント国語教室とは～

カナダの大都市トロントにある、日  
本語を学習する塾のような学校です。  
土曜日のみ開かれています。この学校  
と雨竜小学校は40年以上前から交流が  
あり、隔年で訪問したり、訪問を受け  
たりしてきています。保護者の皆さん  
の中にも、小学生の頃トロントを訪  
問したという方もいるかもしれません。  
コロナ禍のため4年ぶりに再開しま  
した。

この後の数日間はナイアガラの滝などトロ  
ントの名所を案内してくれたり、それぞれのホ  
ームステイ先と出かけたり充実した日々を過  
しました。子供たちにとって最高の体験になり  
ました。

どのようなときも、我々を最大限にもてな  
そうという気持ちが伝わってきました。この4  
0余年の長い年月の中で培われた、トロント  
と雨竜の心の結びつきの強さがそこにはあ  
りました。今回様々な日系の方とふれあ  
う機会がありましたが、中には子供の頃  
雨竜

に来たという人や自分の子供が雨竜でお世  
話になった、自分が引率して雨竜を訪  
問したという方もいました。全ての人が  
雨竜にとっても好印象をもっていま  
した。当然それは、トロントの子  
どもたちの受け入れが素晴らし  
かったからでしょう。ですから、  
今回の訪問も手厚い歓迎だ  
ったのだと思います。

来年は受け入れの年です。私としましては最大限  
のおもてなしで臨みたいと考えています。雨竜と  
トロント国語教室の関係は正のスパイラルで最  
高の好循環を生み出しています。令和6年度は  
皆様のご協力をお願いいたします。

## 保育園との交流 11月8日(水)

来年度入学予定の子どもたち10名が雨竜小学校を訪問しました。5年生との給食交流です。小学校入学に対して少しでも不安感を払拭するために行っています。そして、来年4月から6年生として多くの関わりをもつ5年生と交流することは、大変意義のあることです。5年生にとって時期リーダーとしての自覚を芽生えさせるためには有効な取り組みとなります。

当日は配膳をしてあげたり、一緒に給食を食べてあげ時期リーダーとして、5年生全員しっかりと頑張ってくれました。頼もしい6年生になってくれそうです。



## 北空知PTA連合会研究大会 11月11日(土)

4年ぶりに集合形式で北空知PTA連合会の研究大会が開催されました。今年は雨竜町が担当地区として、子育て研修会ではスマホの使い方など子育てに関することを空知教育局社会教育指導班より講話をいただき、研究大会では日頃から連携している田中学園理事長 田中賢介氏をお招きし、プロ野球時代のことや学園設立に向けての強い思いなどを多くを語っていただきました。

町P連の役員の方々をはじめ、多くの方にご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。



## 「書」de交流プロジェクト 11月9日(木)

北海道教育大学岩見沢校の教授により、書の特別指導を3・4年生、5・6年生を対象に実施してもらいました。お手本を忠実にまねる普段の書写の学習とは違い、甲骨文字など昔の文字を自分流に大胆に、思い切り書く学習をしました。芸術としての「書」を体験した子どもたちは自分の作品に大満足でした。自己肯定感が上がるとても貴重な体験をすることができました。

